

A decorative graphic consisting of two overlapping circles. The larger circle is white and is partially obscured by a smaller, light blue circle. The background of the entire page is a solid light blue color.

第5章 まちづくりの推進

第5章 まちづくりの推進

5-2 まちづくりを推進する情報発信・情報共有

宮の沢のまちづくりを継続的に進めていくためには、取組の内容や進捗を分かりやすく伝え、多くの人が「知る」「関わる」きっかけをつくることが重要です。

地域住民だけでなく、来街者などさまざまな立場の人が宮の沢に関心を持ち、まちづくりに関われるよう、多様な媒体を活用した情報発信を通じて、地域住民、地域団体、事業者（企業等）、行政がそれぞれの立場から関わっていくことが望まれます。

また、情報を一方的に発信するだけでなく、まちづくりに関わる方々との情報共有や意見交換を大切にし、双方向のコミュニケーションを通じて、取組を育てていくことを目指します。

①多様な媒体を活用した情報発信

ウェブサイトやSNSなどを利用して、宮の沢のまちづくりに関する情報発信を行っています。

主な媒体

- ウェブサイト・SNS
- チラシ・ポスター
- 掲示物

②まちづくりに関わる方々との情報共有

ワークショップや意見交換会などを通じて、地域住民や事業者等の声を受け取り、取組に反映していきます。

また、ウェブサイトやSNSなどを利用して、地域住民や地域団体、事業者相互の情報共有を図っていきます。

そのうえで、取組の結果や進捗を共有することにより、「参加してよかった」と感じられる関係づくりを目指します。

主な手法

- ワークショップ・意見交換会
- 意見交換会
- ウェブサイト・SNSを活用した情報共有



デジタルプラットフォーム「mygroove」



ニュースレター

コラム④ 市民参加型デジタルプラットフォームとは？

「宮の沢まちづくり指針」を検討する過程で、ワークショップやアンケートなどを通じて住民の皆さんや事業者の皆さん等多くの方の意見を聞いてきました。

その意見収集の手段として、デジタルプラットフォーム「my groove」を活用したことが大きな特徴です。

デジタルプラットフォームとは、従来の対面型のワークショップではリーチしにくかった若年層や子育て世代などをターゲットに、デジタル環境を通じて、より身近にまちづくりへ関わる機会を提供するものです。また、時間や場所の制約を受けずにオンライン上で意見表明や地域の課題・アイデアの共有が可能となります。

結果として、「my groove」を活用することで、ワークショップになかなか参加が難しい方等の意見も多く取り入れることができました。

リアルな対面でのワークショップとオンラインでのデジタルプラットフォームを複合的に活用することで、双方向的な関与を生み出す新たな手法として有効であることがわかり、こうしたデジタル技術の活用は、今後の市民参画型まちづくりの可能性を大きく広げるものと考えられます。



宮の沢ミライ☆ラボの様子
デジタルプラットフォーム「mygroove」の概要



実際の活用イメージ

my groove デジタルプラットフォーム：札幌市プロジェクト

<https://mygroove.city/organizations/9>